

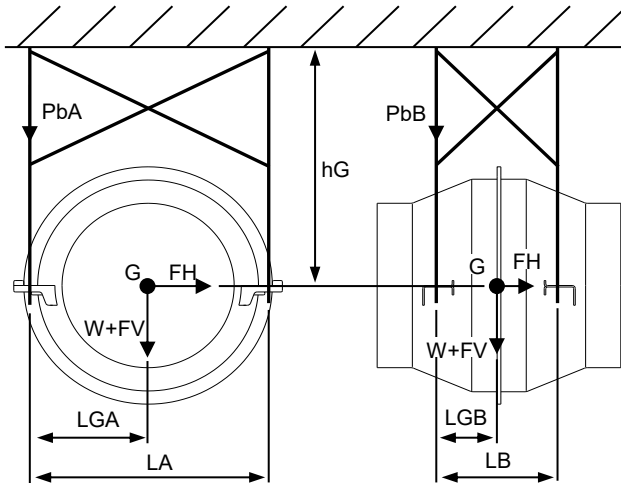
三菱電機株式会社

	作成	2020-5-29 柿沼	改定			
	検認	本田, 柏原				

斜流ダクトファン耐震強度検討書

機種名 JF-300TA

<据付条件:天吊>



製品質量	W = 28.5 kg
重心高さ	hG = 40.0 cm
ボルトスパン (長辺)	LA = 53.0 cm
(短辺)	LB = 28.0 cm
ボルトから重心までの距離	LGA = 26.5 cm
	LGB = 14.0 cm
ボルトサイズ	M10
ボルト数	n = 4 本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W×9.8	279.3 N	419.0 N	558.6 N
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	139.7 N	209.5 N	279.3 N
アンカーボルト引抜き力		ボルトスパン長辺側(RbA)		
$R_b = \frac{FH \times hG + (W \times 9.8 + FV) \times (L - LG)}{L \times nt}$		210.1 N	280.3 N	350.4 N
* L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB、nt=n/2		ボルトスパン短辺側(RbB)		
		304.2 N	421.4 N	538.7 N
アンカーボルトせん断応力度		ボルト断面積: A = 0.55 cm ²		
$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$		127.0 N/cm ²	190.4 N/cm ²	253.9 N/cm ²
各アンカーの短期許容引抜き荷重に対する安全率				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)		12.5 倍	9.0 倍	7.1 倍
短期許容引抜き荷重: 3.8 kN				
各ボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)		79.6 倍	53.0 倍	39.8 倍
短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²				
ステンレスボルト(A2-50)		71.8 倍	47.9 倍	35.9 倍
短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²				
以上の計算結果において、上記のアンカーボルト M10 はいずれも十分な強度を有する				

※「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。

※本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、

製品の耐震強度を保証するものではありません。

※「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。

斜流ダクトファン耐震強度検討書	N20KBGT0349-14	産業機器技術課
-----------------	----------------	---------